

レクチャー及び資料配布の場所・日時
1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)
日時：平成26年2月14日(14:00)



平成26年2月14日
独立行政法人土木研究所

独立行政法人土木研究所『共同研究者の募集』について (平成26年度 第1回)

独立行政法人土木研究所では、平成26年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究(土研提案型：公募共同研究)

フーチングを有しない多柱式ラーメン構造の性能検証法に関する研究 (別添-1)	平成26年度～ 平成27年度
担当：構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ	
共同研究の目的(必要性) 道路橋の下部構造はフーチングを有し躯体と基礎が別の部材で構成されるものが一般的である。しかし、山岳地で施工条件の制約が大きい場合などにおいて、フーチングがなく基礎と橋脚が単一部材で構成される多柱式橋脚と上部構造が、橋軸及び橋軸直角方向に対してラーメン構造となっている道路橋が採用される事例がみられる。このような構造は標準的な道路橋の設計手法とは異なるため、これらの道路橋と同等の性能を有することを客観的に検証できる標準的な手法がない。 このような観点から、フーチングがなく基礎と橋脚が単一部材からなる多柱式橋脚と上部構造がラーメン構造となっている道路橋を対象とした性能検証法の提案を行うものである。 共同研究の内容 (1) 要求性能と検証項目の設定 (2) 構造全体系の力学的特性及び破壊メカニズムの検討 (3) 構造全体系を対象とした実験等の実施による検証 (4) 性能検証法の提案	

2. 募集期間 **平成26年2月14日(金)から平成26年3月14日(金)17:00まで**

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先			
独立行政法人土木研究所 企画部研究企画課	課長	上仙(じょうせん)	靖
	主査	高橋 信行	
電話 029-879-6751			

別 添－１

１．共同研究の名称

フーチングを有しない多柱式ラーメン構造の性能検証法に関する研究

２．共同研究の概要

＜共同研究の目的＞

道路橋の下部構造はフーチングを有し躯体と基礎が別の部材で構成されるものが一般的である。しかし、山岳地で施工条件の制約が大きい場合などにおいて、フーチングがなく基礎と橋脚が単一部材で構成される多柱式橋脚と上部構造が、橋軸及び橋軸直角方向に対してラーメン構造となっている道路橋が採用される事例がみられる。このような構造は標準的な道路橋の設計手法とは異なるため、これらの道路橋と同等の性能を有することを客観的に検証できる標準的な手法がない。

このような観点から、フーチングがなく基礎と橋脚が単一部材からなる多柱式橋脚と上部構造がラーメン構造となっている道路橋を対象とした性能検証法の提案を行うものである。

＜共同研究の内容＞

共同研究の内容（項目）

- （１）要求性能と検証項目の設定
- （２）構造全体系の力学的特性及び破壊メカニズムの検討
- （３）構造全体系を対象とした実験等の実施による検証
- （４）性能検証法の提案

３．実施期間 平成２６年度～平成２７年度

４．共同研究の内容及び研究分担

研究項目	研究細目	研究分担		年次計画	
		土研	共同研究者	26年度	27年度
フーチングがなく基礎と橋脚が単一部材からなる多柱式橋脚と上部構造がラーメン構造となっている道路橋を対象とした性能検証法の提案	要求性能と検証項目の設定	◎	○	→	
	構造全体系の力学的特性及び破壊メカニズムの検討	○	◎	→	
	構造全体系を対象とした実験等の実施による検証	○	◎	→	
	性能検証法の提案	◎	○		→

５．共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

①参画条件

- ・基礎と橋脚が単一部材で構成される橋又はこれに類する構造の設計に関連する研究開発又は業務の実績を有すること
- ・多柱式橋脚と上部構造が橋軸方法及び橋軸直角方向に対してラーメン構造となっている橋又はこれに類する構造の設計に関連する研究開発又は業務の実績を有すること
- ・上記の２つについて優れた能力を有し、本研究遂行のための適切な人員配置が可能であり、かつ、必要な費用を負担できること

②参加者数

3社程度を想定

③参加者の選定方法

書類審査及び個別ヒアリングを行い選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ
石田・西田（TEL：029-879-6773）